＜第４４４１回＞
目的地：音羽山（京都）
担当者：時本
実施日：2023 年 12 月 10 日(日)
形　式：初級ハイキング
費　用：¥2,060.（JR 大阪駅発着）
参加者：11 名

天　気：快晴
行　程：
大阪駅(8:30)＝[JR 新快速]⇒(9:05)山科駅/京阪山科駅(9:10)＝[京阪電鉄]⇒(9:16)大谷駅［集合・156m］(9:19)→(9:22)トイレ前(9:41)→(11:05)音羽山[593.1m](11:23)→(11:47)高圧線鉄塔[昼食](12:19)→(12:35)牛尾観音[360m](12:45)→(12:55)桜ノ馬場[ティータイム・279m](13:25)→(14:40)追分駅[102m]［解散］(14:41)＝[京阪電鉄]⇒山科駅＝[JR]⇒大阪駅
感　想：
本例会は当初、比叡山(大比叡)を目的地としていましたが、山行計画担当から 12 月初旬はアイゼンが必要な場合があり初級ハイキングにはふさわしくないのではというご意見があったため急遽変更し、近い山域の音羽山に行くことにしました。例会案内を提出した後で下見に行ったところ、最初は階段続きの登りがあって、最後は舗装道路を 1 時間以上歩く必要があり、なにより行程が短いと感じました。ガイドブックや登山地図アプリの YAMAP には歩行時間 4 時間以上と記載してあったのに、実際に歩いてみると昼食時間や休憩時間を含めて 4 時間程度で歩けてしまい、多くの人と一緒に歩く実際の例会では 5 時間以上かかると考えられたものの、やはり短いと感じました。しかし、例会案内は既に提出済でしたので、ガイドブックや YAMAP のコースタイムもあてにならないと思いつつ、初級ハイキングだし、たまにはのんびりした例会も良いのではと気を取り直して当日を迎えることにしました。
例会当日、集合場所の大谷駅に 11 名の方に集まっていただきました。大谷駅から国道 1 号を越える歩道橋に登るための道に向かう道中に、老舗のうなぎ屋があります。グルメ好きやうなぎ料理に詳しい人には知られたお店らしく、Ａさんは以前に来られたことがあるそうで、他の方が関心を寄せられ、味はどうだったか、値段は高かったか、価格と味を考量して納得がいくものであったかといったことで暫く盛り上がりました。
大谷駅から音羽山に登ると、コースの最初の頃に大きく 2 ヵ所に分かれて階段かあります。例会で音羽山に登る場合、大谷駅に降りてくることがほとんどですが、今回は大谷駅から登るコースを選定していました。大谷駅に降りてくる順路の場合、階段がある部分は既に終盤に差し掛かっており、下見に行くまでの私もそうでしたが大谷駅に近い場所に多くの階段があることを意識されていない方が多かったようで、こんなにたくさんの階段があったのかと驚かれていました。また、11 月始めに河内飯盛山～生駒山を担当されたＴさんは、「階段のきつさは飯盛山の方がすごい」と言われていましたが同感で、階段のステップが短く 1 段ずつの段差も大きいため、飯盛山の方が大きな負荷がかかると思います。
階段が終了するとなだらかな登山道が続きます。当日は、快晴で 12 月上旬にしては暖かく、風もほぼ無いと言ってよい状態だったため、快適なハイキングを楽しめました。
やがて音羽山頂上にやってきました。多くの階段はあったものの案外簡単に到着し、ここが本

日の最高地点ということで、皆さんから「もう着いたの」という声があがりました。音羽山頂上は、日が当たり暖かく感じられ景色が良かったため、皆さん小グループ毎に分かれいろいろな話をされていました。あとは下りだけという安心感が手伝ったこともあったのでしょう。ここでＳさんがスマートフォンで撮影された、音羽山頂上から俯瞰した写真はPLフィルターがかかったような濃い青色の空がきれいに写り、「何か（写真に）加工したのではないか」とか「現実よりずっときれい」とか周りの皆さんが言われるほどの出来栄えでした。音羽山頂上からは比叡山（大比叡）や山科の市街地が見えました。ただ、普段は見えるはずの琵琶湖には霞がかかっていて湖面は見えませんでした。暖かい水の湖面や川面に冷たい空気が触れると、水面からの水蒸気が霧になることはよく聞くのですが、当日は冷たい空気ということは当てはまらなかったと思いますので不思議でした。

音羽山頂上を出発後、昼食場所に相応しいところを探しながら進んでいたのですが、高圧線の鉄塔の周囲の広場を見つけそこで昼食をいただくこととしました。昼食時、ラーメンを食べていた人が食べ終わった後、「しまった。七味を入れ忘れた。」と言われたので、すぐ横のＩさんがすかさず、「では今から七味を食べて体をゆすれば体内でブレンドされるので丁度いいのでは」と言われましたので、笑いの渦が広がりました。

昼食場所出発後も、音羽山頂上からの下りが牛尾観音に向かって続きます。牛尾観音でしばらく休憩した後、階段を下って桜ノ馬場に向かいました。途中、道をよく覚えておられるＴさんが、このあたりに来年の干支にちなんだ龍の彫刻が設置してあったはずと言われたので皆で探していたところ、階段が終わった直後に見つかりました。

牛尾観音からの階段を下った後は開けた場所の桜ノ馬場に到着し、ここでティータイムとしました。Ｓさんの手作りケーキを始め、ティータイム以前の果物も含め、Ｓさん、Ｓさん、Ｓさん、Ｎさん、Ｍさんと多くの方から差し入れをいただきました。ありがとうございました。お陰様で、充実したティータイムとなりました。（他にも差し入れをいただいた方がいらっしゃったかも知れません。あまりに多くの方からいただいたため覚えていることができず、記載できていない場合は、申し訳ありません。）

桜ノ馬場でゆっくりとくつろいだ後は、舗装道路を通って追分駅までゆるやかな下りを進みました。舗装道路区間が長かったので、皆さんには申し訳なかったです。ただ、天候に恵まれ、風がない暖かいと言ってもよい程の気温で、快適に歩けたことは良かったです。のんびりした例会だけに物足りなかった方もいらっしゃるでしょうが、負荷が軽かったお陰もあって会話が弾んで楽しいという一面もあったのではと思っています。参加された方には、１日お付き合いいただきましてありがとうございました。